

ニフレル広報の
田井康之さんと
館内をぐるっと1周！

開館前のニフレルに MICHITAKERSと獣医学類生が 潜入！



MICHITAKE!
未知を知って「満ちていく」あなたの世界

2017.07
07

あなたの知らない世界を
届けたい。
未知を知ること、
あなたは満ちていく。
未だ知らない世界がきっとここに。
You can always take MICHITAKE!



刻一刻と色の変化する空間で、生きものの色の多様性を表現しています。



ニフレルでは、壁に埋め込まれた水槽は使っていません。一つ一つの水槽が独立しているので、ゆっくりと個々の魚たちに向き合うことができます。真上から魚を見ることが出来たり、他では見ることの出来ない貴重な景色をニフレルでは体感できます。とても新鮮な世界ですよ。



ホワイトタイガーの
アクア

朝 開館前～ アクア(ホワイトタイガー)の調餌
開館後～ アクアの給餌

飼育動物の福祉の向上を目的とした環境エンリッチメントとして、1時間以上かけて楽しくエサを食べてもらうように飼育を担当するキュレーターが工夫しているんですよ！
お客さまにもアクアがダイナミックにエサを食べる様子を楽しんでほしいです！



赤い容器(おもり)に餌を結びつけ、振り子のように大きく動かすと…アクアがそれを追いかけてキャッチ！



アクアの餌を準備する伊東さん

ニフレルの獣医師、
伊東隆臣さんに
聞きました

伊東さんが考える「獣医」とは？ 診察・検査

ずばり、村のお医者さん。眼科も内科もしなければいけない。難しいことはできないけれど、村民(飼育されている生物)のことはよく知っています！府大の獣医臨床センターに分析を依頼するなどお世話になることもあるんですよ！
動物が病気やけがをしたときは私はもちろん、飼育員、ほかにも動物看護師と一緒に治療にあたります。



診察・検査を行うための設備。



ミニカバの「モトモト」。
体温測定や採血のトレーニング中。

タ トレーニング
(ハズバンドリートレーニング)

動物が嫌がらずに採血や体温測定など健康管理をできるように普段からトレーニングしています。例えばサインを出すとお腹を上にしておとなしくしてくれるようにトレーニングすると、健診や医療行為を行いやすくなります。動物園や水族館では生物の健康を守るために大切な仕事の一つなんですよ！

続きは

Webマガジン
ミチテイク・プラスで！
ニフレル潜入記事をもっと詳しく！

海遊館と近い立地ながら、
「感性にふれる」をコンセプトとした
新しいスタイルを確立しているニフレル。
このニフレルの魅力を探るため、
府大生が取材に伺いました。

(2016年9月取材)

取材：
中楠 貴之
MICHITAKERS
(工学研究科)

ニフレルが
できるまでに
苦労したことは
なんですか？

企画からオープンまで4年ぐらいの年月をかけました。約1時間と距離が近い海遊館とは異なる今までにない新しいものをつくる、水族館というカテゴリにこだわらず、魅力的な新しいものをつくることを目標にしました。しかし、一から新しいものをつくることはとても難しかったです。そこで、これまでとは違った視点を取り入れようと思い、飼育・運営事務方・ニフレルに関わる従業員みんなでアイデアを出し合う、という新しい手法を取りました。

取材：
西 茜
MICHITAKERS
(マシナント学科)

ニフレルの
コンセプトを
教えてください

子供の時に当たり前にあった生き物や自然に対する興味を、大人になって失っているのではないかと考え、自然と触れ合う喜びを思い出してもらいたいと考えました。そこで、「感性に触れる」というコンセプトに決めました。レイチェルカーソンの「センスオブワンダー」という本で、自然や生き物の不思議さに神秘性に触れる感性という使い方をしている、ニフレルのコンセプトとシンクロしているなとピンと来たのがきっかけです。

取材：
高木 彩夏
(獣医学類)

ニフレルの
名前の由来は
なんですか？

ニフレルの名前を付けたのは事務の若い女性社員なんです。最初はおじさんばかりで考えていたのですが、「アクア○○」「バイオ○○」とどこかで聞いたような名前ばかり出てきてしまい、ピンと来るものはありませんでした。「感性に触れる」のニフレル。「感動に触れる」「驚きに触れる」みんなで考えた結果生まれました。

ニフレルの
見どころを
教えてください

コンセプトに「生き物とダイレクトに触れ合うことができる空間」を掲げて、ワオキツネザルや鳥類の放し飼いが実現しました。お客様が怪我などをしないように、展示動物と人間との間に水路をさりげなく設置するなどの工夫によってゆるやかな境界線をつくり、共存することが可能になりました。

続きは

Webマガジン
ミチテイク・プラスで！



ニフレル館長の記事をもっと詳しく！

interview

「自然に触れ合う喜びを」

ニフレル館長
小畑 洋さん
株式会社 海遊館
ニフレル事業部長 兼 ニフレル館長
学芸員



ワオキツネザルや鳥類の放し飼いをしています。

府大生OGがキュレーターとして活躍中！

「生き物を愛し、生命を 尊ぶ子どもを増やしたい！」

「ニフレル」で魚類や
両生類、は虫類の
飼育を担当しています。



バンザーイ！



ニフレル 棚田麻美さん
(生命環境科学部 OG)

株式会社海遊館 魚類担当キュレーター
(ニフレル事業部 展示計画チーム)
大阪府立大学 生命環境科学部
生命機能化学科卒業(平成22年3月)

夢をつかんだ卒業生が、自身の経験や現在の仕事にまつわる興味深い話題を在学生に語る世代間交流会「夢こもんず」。2017年1月14日のゲストスピーカーは、株式会社海遊館で生物の飼育展示に携わる棚田麻美さん。大学院在学中から海遊館で働き始め、幼い日からの夢だった「生き物たちを幸せにする仕事」に情熱を注ぐ棚田さんの姿は、「人生を素敵に生きる」ために何が必要か、学生時代をどうすごせばいいかを、生き生きと語ってくれました。



棚田麻美さん

続きは

Webマガジン
ミチテイク・プラスで！



棚田麻美さんの記事をもっと詳しく！

MICHITAKERSが紹介 前へと進む府大生!!



(所属・学年は取材当時)

公認会計士という職業に出会い、その夢を掴むことができました!

なぜ大阪府立大学を受験したのですか?

高校生の時は「こういう仕事がしたい!」と思える職業が見つかっていませんでした。大阪府立大学はさまざまな分野を学ぶことができるので、自分がやりたいことを見つけた時の選択肢が広がるのではないかと感じたことが決め手でした。

実際に入学してからやりたいことは見つかりましたか?

1年生の前期に受けた簿記の授業がおもしろくて、担当の先生や先輩から話を聞くうちに「公認会計士になりたい!」と思うようになりました。ただ、初めて学内で受けた簿記テストの結果がボロボロで、このままでは単位すら落としてしまうと思い、一生懸命勉強しました。すると、テストの点数もあがるだけでなく、徐々に理解が深まって会計の勉強が一層楽しくなり、本格的に会計士を目指そうと決めました。

公認会計士の試験は大変だったと思いますが、おすすめの勉強法などあれば教えてください。

コツは...無いです(笑)ただひたすら机に向かって、起きてる間はずっと勉強していた気がします。1年生の12月から3年生の8月頃までは勉強漬けの日々でした。家事に関しては「家事をする時間」を決めるようにしていました。「掃除は○曜日の○時頃にする!」とか、「洗い物はご飯食べ終わったらすぐにする!」とか、自分の中でルールを作って、それをこなしていくうちに徐々に慣れていきました。



Iwai Moe

現代システム科学域
マネジメント学類 3年
岩井 萌さん



Webマガジン
ミチテイク・プラスで!
岩井萌さんの記事をもっと詳しく!

たくさんの人に出会い、人とのつながりの大切さを学ぶことができました

なぜ大阪府立大学を受験したのですか?

もともと「何か人の為になる仕事がしたい」という想いがあり、高校2年生の時に作業療法士・理学療法士という仕事を本で知り、直感的に「この仕事がしたい!」と思いました。その後、いくつかの大学のオープンキャンパスや学祭に参加しましたが、実家が羽曳野キャンパスに近く、校舎がきれいで、先輩たちも優しい方ばかりだったので、大阪府立大学に決めました。

大学で学んだことや、感じたことを教えてください

入学して初めて一人暮らしを始めたので、あらためて親のありがたさを感じました。それと同時に、たくさんの人に出会い、人との繋がりの大切さを学ぶこともできました。ルームシェアも経験し、その友人とは今も連絡を取り合っています。大学では、生理学や機能検査、疾患についてさまざまなことを学び、その後実習で病院を訪れました。実習では一人の患者さんを担当させていただき、机上の学習では学べない現場を知ることができました。患者さんの体調はもちろん、心の状態や治療方法によって、作業療法士として柔軟に対応しなければならぬことが分かり、多くのことを学びました。



Omukai Yuki

地域保健学域
総合リハビリテーション学類
作業療法専攻 4年
大向 優貴さん



Webマガジン
ミチテイク・プラスで!
大向優貴さんの記事をもっと詳しく!

自分のやりたいことを見つけて、突き詰めて学ぶことができる環境でした

地域保健学域 教育福祉学類を受験した理由は?

高校生の時、自分のやりたいことは何なのかと悩んでいました。理系文系問わず、様々な分野を調べる中で、高3の時に社会福祉学に出会いました。私は小学校の時に進行性筋ジストロフィー症と診断を受けました。「障がい」を扱う学問があることを知り、自らの日常生活の中で生じる障がいについての疑問や違和感への答えがそこにあるような気がして、「障がい者に関することを学びたい!」と思いました。そんな時期に、大阪府立大学に教育福祉学類があることを知りました。学類について調べれば調べるほど、自分がやりたい学問や進み道が明確でなくても自分のやりたいことをここで見つけて突き詰めて学ぶことができる環境があるのではないかと感じ、受験しました。

具体的にどのようなことに興味を持ったのですか?

社会福祉学の中に自分の人生のヒントや指針になるものがあるのではないかと考えました。社会福祉学には、『障害の社会モデル』という言葉があります。「障がいは、その人の身体によって作られるのではなく、社会の在り方によって作られる」という考え方を表した言葉です。この言葉に出会った時、強い衝撃を受け、目の前がパッと開けたように感じました。自分がずっと付き合っていかなければならぬと思っていた障がいに対する考えが変わって、いっそう社会福祉学に興味を持つようになりました。



Kido Kanae

地域保健学域
教育福祉学類 4年
木戸 奏江さん



Webマガジン
ミチテイク・プラスで!
木戸奏江さんの記事をもっと詳しく!

学びに溢れた4年間に感謝し、夢への一歩を

私は、昔から食べ物の成分表示を見るのが好きで、食品の開発に携わりたいと考えていました。そして科学者を目指して物質化学系学類に入り、2年次の課程配属で化学工学課程を選択しました。高校の時のように与えられた問題を解くだけでなく、大学では自分で問題を見つけ追求しなければなりません。大変ではありますが、そのぶん日々疑問と気付きの連続で充実しています。現在は、腸内における食品添加物の影響について研究しています。

大学では、学ぶだけでなく様々なことに取り組むことをめざしました。ファッションサークルに所属し、テーマ、衣装、構成全てをメンバーで作上げてファッションショーを開催したり、手作りの服やアクセサリーを販売したりしていました。またアルバイトは塾講師で英語、数学、国語、理科の個別授業、集団授業をしていました。大学生のうちでしかできないことになるべく多く挑戦しようと思い、ミスあべのコンテストやミスユニバーシティ関西、今宮戎神社の福娘、短期の留学などたくさんのことにチャレンジしました。今振り返ると、府大での4年間は学びに溢れていたと改めて感じます。



工学域
物質化学系学類
化学工学課程 4年
木岡 真理奈さん



Webマガジン
ミチテイク・プラスで!
木岡真理奈さんの記事をもっと詳しく!

最近の府大ニュースをお届け!



みちていくbot
@MichiTake55

7,777
ツイート

3,333
フォロー

77,000
フォローワー



Instagramで“つながり”
キャンペーン! @abdefghijklmn

大学の魅力や日常をお届けしていくため、Instagramアカウント「opu_insta」を開発しました。ただいま、ハッシュタグ「#opu_insta」をつけて素敵な風景等を投稿する“つながり”キャンペーンを開催中です! 辻学長が掲げる“つながり”をコンセプトに、学生や教職員、卒業生、地域のみなさんと一緒になって府大の魅力をつなげていきましょう!
@opu_insta instagram



ミチテイクを母校に贈ろう!
@michitake_glt

先日、現代システム科学域 環境システム学類の森本優子さんが、母校の清教学園高等学校の後輩たちにレター付きでミチテイクを贈ってくれました! みなさんも、自分の母校に贈る機会があれば、府大生が作ったミチテイクをお土産に、後輩たちに府大のいまを伝えませんか? 詳しくは広報課(中百舌鳥キャンパスA11棟2F)まで!



自分のキャリアって?! @Job&Caree

将来のことは誰でも不安。府大では各キャンパスに相談窓口があり、特に中百舌鳥キャンパスの学生課キャリアサポート室ではそれらを総括しながら、早い年次からの学生相談やワークショップを行っています。また、下記のFacebookページやLINEなどでもタイムリーに情報発信を続けています。早いうちから色々な話を聞いて、就職活動だけではなく自分の人生をどう描きたいのかを少しずつイメージしていきましょう。ぜひチェックを!
▼キャリアサポートFacebookページ
https://www.facebook.com/OPUcareer



スタッフ募集 @Recruiter_Michitake

MICHITAKERS新メンバー募集中!
この広報誌ミチテイクを作る学生広報サークル「michitake」では、学生の編集メンバー「MICHITAKERS」を通年で募集しています♪
☆府大の良さをもっとたくさんの人に広めたい!
☆広報誌づくりに興味がある!
☆こういう活動と一緒にやりたいと思った!
! などなど感じられた方は、
michitake.opu@gmail.com
までご連絡ください。
MICHITAKEメンバー一同、お待ちしております!



編集後記 @editorial_note

周りにいる大阪府立大学の素敵な人々に感化され、3年になった私は「やりたいことは全力でやりきる」というモットーを持つようになりました。今回のこの紙面では、そんな素敵な先輩方のご活躍のほんの一例を挙げていただいています。文系理系関係なく、みなさんが輝ける場所、やる気がある人には周りが全力で支えてくれる場所。それが大阪府立大学です。こんな風になりたい、こんな人がいた大学に入りたいと、「人」の観点から大学を見つめることも素晴らしいと思います。このミチテイクによって、みなさんの選択肢の幅を広げることが出来れば嬉しいと思います。



大阪府立大学
学生広報サークルmichitake
代表: 西 茜
(現代システム科学域
マネジメント学類)



「Michi Take(ミチテイク)」は、「学生だからこそ見える景色を伝えたい」、そして大学が持つ大きな価値である、「さまざまな知的な出会い、さまざまな未知(michi)へのきっかけを受験生のみなさんに届けたい」と願う有志現役学生と、府大広報課との連携によって創刊された、府大の魅力や学生視点でお届けする学生広報誌です。



あなたの知らない世界を届けたい。未知を知ることで、あなたは満ちていく。未だ知らない世界がきっとここに。You can always take MICHIL.

誌面の詳しい情報はWebでも公開中です!

ミチテイクプラス

MICHITAKE PLUS

Michi Take Facebook

f Michitake

大阪府立大学 学生広報誌
「Michi Take(ミチテイク)」第7号 2017年7月発行
編集協力: 株式会社フルハウス・イグゼ
【発行・お問い合わせ先】
公立大学法人大阪府立大学 理事長室広報課
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL. 072-254-9103 (ダイヤルイン)
Mail. koho@osakafu-u.ac.jp



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



VEGETABLE OIL INK